

# 2025 年頭所感

## How we move you.

### 時代を切り開く人となれ！

皆様、新年明けましておめでとうございます。

早速ですが、近年は様々な業界で100年に一度あるかないかの転換期を迎える時代となりました。思い返せば、1993年のGATTウルグアイ・ラウンドにおいて当時の米国大統領クリントン氏による農業分野における日本国内市場開放に端を発し、その後1997年の金融ビッグバンを迎えることとなりました。当時私は東京海上火災保険株式会社（現在：東京海上日動火災保険株式会社）を退職し、株式会社ウェブクルー（保険スクエアBang!）を設立した年で32歳でした。銀行、証券、保険業界の垣根をなくし、当時の監督官庁である大蔵省(現在：財務省と金融庁)による護送船団方式に終焉を迎え、外資系金融機関に日本国内市場を開放するというものでした。まさに米国政府による外圧、またそのスポンサーである当時AIGグリーンバーク会長の手腕によるものであったと記憶しております。その後、その流れはIT業界の誕生と成長により全産業へと影響スピードを加速させて行きました。一昨年頃からはカーボンニュートラルを目指す自動車業界にも波及するようになって参りました。しかし、皆さんよく考えてください！銀行、証券、保険業界といった金融業界は自動車メーカーの海外進出グローバル化の波の後追いでした。つまり、自動車メーカーが海外進出した後に銀行を中心に金融業界は海外へ進出して行きました。その金融業界が自動車メーカーよりも先に1997年の金融ビッグバンにより、淘汰されました。まず日本国内においては、最初に三井銀行と住友銀行が合併し三井住友銀行となったことを皮切りに、都市銀行、証券会社、保険会社の合併、事業統合、そして近年では持ち株会社による事業統合などが主流となり、数十社単位の金融機関が数社程度になりました。米国においても自動車業界を見た場合、今日では自動車メーカーは数社単位まで淘汰されました。全ての産業界、スポーツ界、学術芸術文化に至るまで我が国日本は米国の後追いです。

そんな時代を、これまで経験したことのないスピードで変革していく時の流れの中で、私たちは日本で生きています。そんなことを改めて実感する2025年がいよいよスタートします。

How we move you. 時代を切り開く人となれ！

2025年 元旦

Global Talent Institute

CEO 長谷川進